



このすごろくは、立命館大学国際平和ミュージアムの常設展示「平和創造展示室」の内容をもとに作られています。

ゲームとおして、平和な世界をつくるために自分が何ができるか、みんなを考えてほしいと思います。平和な世界とは、戦争がない世界をさすだけでなく、すべての人々が自分のもつ力を十分に発揮していくことができる世界のことです。

わたしたちの身のまわりには、命をあやうくしたり、心をいためたり、願いをふみにじったりするでございがたくさんあります。こうしたことも暴力のひとつです。教室でのいじめ、外国人への差別、環境破壊などその例はたくさんあります。

世界や地域のなかでどのような問題がおこっているかを知り、わたしたちひとりひとりができることを考えてみましょう。

【参考文献およびURL(参照日 2021.7.1)】
 ILO駐日事務所 Web サイト
<https://www.ilo.org/tokyo/areas-of-work/child-labour/lang--ja/index.htm>

国連WFP協会 Web サイト
<https://www.jawfp.org/jp/schoolmeals/>

公益財団法人日本ユニセフ協会Webサイト
https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html

環境省 | 「バーチャルウォーター」の現状と説明
https://www.env.go.jp/water/virtual_water/

世界社会フォーラム 2021
<https://wstf2021.net>

World Wide Fund for Nature Japan (世界自然保護基金) | 「森林破壊の最前線 変わりゆく世界における森林減少の要因と対応要約版」
https://www.wwf.or.jp/activities/data/deforestation_fronts_summary_jp.pdf

UNISEF (February 2007) | THE PARIS PRINCIPLES PRINCIPLES AND GUIDELINES ON CHILDREN ASSOCIATED WITH ARMED FORCES OR ARMED GROUPS
https://www.unicef.or.jp/library/pres_bn2007/pdf/070205.pdf

国際子ども権利センター、甲斐田万智子編 | 『世界の子どもの権利をまもる30の方法』 合同出版 2019

外務省 (2019.8.14) | ジュネーブ諸条約及び追加議定書
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/k_jindo/giteisho.html

Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO) | Desert locust crisis
<https://www.fao.org/emergencies/crisis/desertlocust/en/>

解(かいせつ)説(せつ) 紛争 (ふんそう)

紛争のこと、知っている?
 人はそれぞれ違う考えや目標などをもってしています。もしお互いに反発してゆずりあわずに行動したら、争いになりますよね。これが紛争です。世界では、武器を使うようなひどい暴力による武力紛争もたえず起きています。

ニュースでよく聞くイスラエルとパレスチナ、ミャンマー、イラク、シリア、アフガニスタン、そしてロシアやエチオピア、カシミア、西サハラなどでおきている何十年にもわたる紛争は、そこに住む人々にとって悲惨なものです。※1、2

紛争はなぜ起きるの?
 お互いに大切にしていることが違って、欲しいものをゆずらなかつたり相手に無理やり言うことを聞かせようとしたりすれば、紛争が起きてしまいます。世界でおきている紛争は、

- ・土地をめぐる問題
 - ・貴重な資源の奪い合い
 - ・生きていくのが難しいほどの貧しさ
 - ・民族や宗教の違い
 - ・人権を無視したり、平等でなかつたりする政治のしくみ など
- が原因と考えられています。一方で違う考え方や文化を持っていても、お互いに仲良く暮らしている人たちもたくさんいます。争いの言い訳にしているだけなのかもしれません。

紛争が起きるとどうなるの?
 武器や暴力による武力紛争で犠牲になるのは、弱い立場の人たちです。人が傷つくだけでなく、建物も道路も破壊され、日常生活を続けることが難しくなり、命の危険にさらされます。子どもは学校に通えなくなり教育をうけることができず、また病院にも行くことができず、また新たな争いごとがおこしてしまいます。

心も体も回復できずみんなが暗い気持ちのまま、また新たな争いごとがおこしてしまいます。

紛争をなくすために
 国と国の間で紛争がおきた時には、国際的な法律にもとづいて平和的に解決するために、国際司法裁判所 (ICJ) があります。

世界の国を巻き込んだ過去2度の大きな戦争を反省して、武力紛争にかかわる国際的な取り決めもつくられています。

【国連憲章】(1945年)
 国際連台ができた時に目的や役割を定めた文章です。

すべての加盟国には紛争を平和的に解決する義務があります。また他の国に対して武力を使ったり、武力でおどしたりすることが禁止されています。

【ジュネーブ諸条約】(1949年、1977年追加議定書)
 武力紛争が起きた時のルールを決めて、できるだけ被害を軽くしようとして作られました。

傷ついた人(負傷者)、傷ついた人を助ける人(救済者)、捕まった人(捕虜)や戦いに直接関係ない人(文民)を守るための約束事があります。

何よりも、紛争がおきている本当の原因を考えて、紛争が暴力につながる前に防ぐ努力が必要で、2001年に始まった「世界社会フォーラム」では、世界全体でおきている問題について、人権、政治、気候変動、地球規模の経済活動などあらゆる方向から考えて、国や政府の人だけではなくみんなで見えを交換しています。